

今日のお天気

対象の児童・生徒

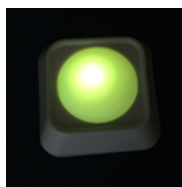
- ・聴覚優位や弱視の児童
- ・様々な経験を通して、興味・関心を広げることがねらいとする児童
- ・訪問学級に在籍し、実際の物事に触れることが難しい児童

ねらい

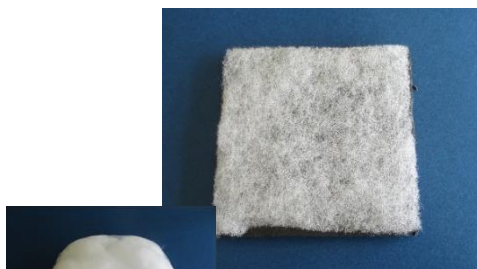
- ・天気に興味・関心をもつ。
- ・触覚（手指で触る）・聴覚（曲を聞く）・視覚（光を感じる）等いくつかの感覚を使って、天気の違いに気付く。
- ・自分の気持ちを表現する。

教材の使い方（または作り方）*訪問の教材なので、サイズも表示

- ① 天気カードは、感触の違う材質でコンパクト（7×7cm）に作成する。雨カードを提示する時は、霧吹き（8センチ）を使用して雨の感触を体験する。曇りカードを提示する時は、雲に見立てた綿（水切りネットに入れたもの）を触る支援をして、柔らかさを感じる。
- ② 天気カードの色と同じカラーライト（5×5cm）は、追視ができるように動かして、光を感じていることを確認する。
- ③ タブレット端末のキーノートで作成した、晴れ・曇り・雨のお天気のイメージの歌を、カードやカラーライトを提示している時に流して、聴覚でも確認できるように支援をする。



お日様になりたい♪



くもくもく♪



あめふり♪